

カトリック河原町教会だより

2022年1・2月

教皇フランシスコ 2022年第30回「世界病者の日」教皇メッセージ（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

30年前、聖ヨハネ・パウロ二世教皇が世界病者の日を制定したのは、神の民、カトリック医療施設、そして市民社会が、病者と彼らのケアにあたる人々の支援の必要性への認識を高めるためでした。

1. 御父のようにあわれみ深く

第30回のテーマとして選ばれた「あなたがたの父があわれみ深いように、あなたがたもあわれみ深い者となりなさい」（ルカ6・36）は、まずわたしたちの視線を「あわれみ豊かな」（エフェソ2・4）神に向けさせます。神は、父の強さと母の優しさをもって私たちの面倒を見ておられ、聖霊によって新しいいのちを与えようと、たえず強く願っておられるからです。

2. 御父のあわれみであるイエス

福音書は実に多くの箇所で、さまざまな病気を患う人とのイエスの出会いを伝えています。イエスは「ガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、み国の福音をのべ伝え、また、民衆のありとあらゆる病気や患いをいやされた」（マタイ4・23）のです。

3. キリストの痛みを負うからだに触れる

私が考えているのは、医師、看護師、検査技師、病者の介助や介護のスタッフ、そして苦しむ人の為に貴重な時間を割いてくれる多くのボランティアの事です。回復の見込みがない場合でも、ケアはつねに可能であり、なぐさめを与える事は常に可能であり、病状にではなくその人に関心を示しているという寄り添いを感じてもらう事は常に可能なのです。

4. ケアにかかわる施設——あわれみを表す家

何世紀にもわたり病者へのあわれみに駆られてキリスト教共同体は無数の「よいサマリア人の宿屋」を開設してきました。

5. 司牧におけるあわれみ——いること、近しくあること

ここ30年で医療司牧（パストラルケア）は、必須の奉仕としての認知度が高まったと思います。親愛なる兄弟姉妹の皆さん。わたしはすべての病者とその家族を、病者のいやし手、マリアの執り成しにゆだねます。この世の痛みを身に受けておられるキリストと結ばれて、意義となぐさめを見だし、自信をもつことができますように。すべての医療従事者のために祈ります。彼らがあわれみ深い者となり、患者に対する適切なケアだけでなく、兄弟愛からの寄り添いに努めることができますように。すべての人に、わたしは愛を込めて使徒的祝福を送ります。（世界病者の日 2022年2.11）



教会の様子(Instagramより)

世界代表司教会議(シノドス)第16回通常総会

ともに歩む教会のため 交わり、参加、そして宣教

洛東ブロック担当司祭 瀧野 正三郎

制度的にシノドス的な教会(準備文書 II. 抜粋)

「まさにシノダリティの歩みとは、神が第三千年期の教会に期待しておられる歩みなのです。ある意味、主がわたしたちに求めておられることは、すべて『シノドス』ということばの中にすでに含まれています。つまりシノドスとは、「教会の聖伝の中で古くから使われている由緒あることばであり、その意味は黙示録のもっとも深い主題に基づいています」。それは『道であり、真理であり、いのちである』とご自身を示された主イエス」であり、「主イエスに従う人々、キリスト者は元来、『道に従う者』と呼ばれていました」。このような観点から見ると、シノダリティは、教会会議や司教総会を開催することや、教会内部の単純な運営問題以上のものであり、それは「神の民である教会の特定の生き方と活動様式であり、教会のメンバーが皆ともに旅をし、集いに集まり、教会の福音化の使命に能動的に参加するとき、交わりとしての教会の存在を明らかにし、実体を与えます」。このように、今回のシノドスのテーマが提案するシノドス的な教会の主軸、つまり交わり、参加、宣教が結び付くのです。(10)

わたしたち全員が招かれている旅の意味は、何よりも、誰もが学ぶべきことをもっているシノドス的な教会の顔かたちを発見することにあります。そこでは、「一人ひとりにとって学ぶことがあります。信徒、司教団、ローマの司教、それぞれがお互いに耳を傾け、また皆が『真理の霊』である聖霊に耳を傾けます。それは、聖霊が『諸教会に告げる』ことを認識するためです」。

ローマの司教は、教会一致の原理と基礎として、唯一単一のカトリック教会が存在する中で(『教会憲章』23 参照)、またそこから存在するすべての司教とすべての部分教会に、自信と勇気をもってシノダリティの道に加わるよう求めます。この「ともに旅をする」ことにおいて、多様なたまもの、カリスマ、奉仕職を一致させる交わりが、どのようにして宣教のためになるのかを発見する助けを、わたしたちは霊に願い求めます。つまり、シノドス的な教会は「出向いていく」教会であり、「門の開かれた」宣教する教会です。これには、わたしたちが一つの洗礼によって結ばれている他の教会やキリスト教共同体との関係を深めるという呼びかけが含まれています。

「ともに旅をする」という視点はさらに広く、わたしたちが「喜びと希望、苦悩と不安」(第二バチカン公会議『現代世界憲章』1)を共有するすべての人類を対象としています。シノドス的な教会は何よりも、それを通じてすべての人の善を追求する、共有されたプロジェクトを提案することができない国々の共同体にとっての預言者的しるしです。つまり、シノダリティを实践することは、今日、教会にとって、「救いの普遍的秘跡」(『教会憲章』48)、「神との親密な交わりと全人類一致のしるし、道具」(同、1)となるためのもっとも明白な手段なのです。(15)



シノドス開会ミサ(バチカンニュース 2021.10.10)

河原町教会トピックス

主の降誕(クリスマス)ミサの記録

事前に座席数を増やし多くの参加者に恵まれました。



河原町教会の日常



河原町通りから見た聖堂



幼児の洗礼



土曜学校 クリスマス聖劇



雪の日の聖堂前

2022年2月～4月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
2	6	日	[年間第5主日]
	11	金	世界病者の日
	13	日	[年間第6主日]
	20	日	[年間第7主日]
	27	日	[年間第8主日] 病者の日ミサ 10:30
3	2	水	灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) ミサ 7:00 18:30 四旬節愛の献金(四旬節の期間中)
	6	日	[四旬節第1主日] 洗礼志願式 10:30 ミサ中
	13	日	[四旬節第2主日]
	17	木	日本の信徒発見の聖母
	19	土	聖ヨゼフ
	20	日	[四旬節第3主日]ブロック四旬節黙想会(伏見教会)
	25	金	神のお告げ
	27	日	[四旬節第4主日]
4	3	日	[四旬節第5主日]
	10	日	[受難の主日](枝の主日)(聖週間)
	13	水	聖香油ミサ 11:00
	14	木	聖木曜日(主の晩さん) 19:00
	15	金	聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎) 19:00 聖地のための献金
	16	土	聖土曜日/復活徹夜祭ミサ 19:00
	17	日	復活の主日ミサ 7:00・10:30・14:00(英語)
	24	日	[復活節第2主日](神のいつくしみの主日) 子ども初聖体 10:30 ミサ中 ミサ後お祝い
30	土	洛東ブロック会議 (桃山教会)	

お知らせ (敬称略)

◆洗礼 おめでとうございます

2021.12.12 マリア 神谷 珠梨

2022. 1.10 セシリア 北村 常子

◆転入 ようこそ河原町教会へ

2021.12.22 マリア 玉木 幸子 2021.12.22 ヨゼフ 玉木 正敏

2021.12.22 アンナ 禹 相英 2021.12.22 マリア ゴレッティ 玉木 雅美

2021.12.22 マリア 玉木 洋子

◆転出 どうぞお元気で

2021.11.23 フランシスコ・ザベリオ 潮崎 憲 2021.11.23 アグネス 潮崎 悦子

2022. 1. 7 Marie 清水 清里

◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2021.12. 5 テレジア 猪子 敏 2021.12. 8 ヨゼフ 上田 博之

2022. 1. 5 テレジア 西村 よね 2022. 1. 8 モニカ 田中 彰子

2022. 1.10 セシリア 北村 常子

2022. 1.27 アレキサンドリアのカタリナ 神農 正子



ミサ(集会祭儀)の時間

公開ミサ(集会祭儀)は2月20日まで中止。(以後未定)

ミサライブ配信(菅原神父)

日曜日朝 7:00(翌日まで録画有)
尚、公開ミサ再開等最新情報は
ウェブサイトでお知らせします

講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシーのチーム)

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

「カトリック教会の教え」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

要理通読会

木曜日 11:30(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

(ミサ中止期間中は休み)

聖書を学ぶ会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

(ミサ中止期間中は休み)

みんなの集い

土曜日 15:00(菅原神父)

「ヘブライ人への手紙」を読む
第1土曜日 19:10(菅原神父)「これから洗礼を受けられる方
向け」は事務室か
rakuto.nyumon.class@gmail.com
まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2022.1・2 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>